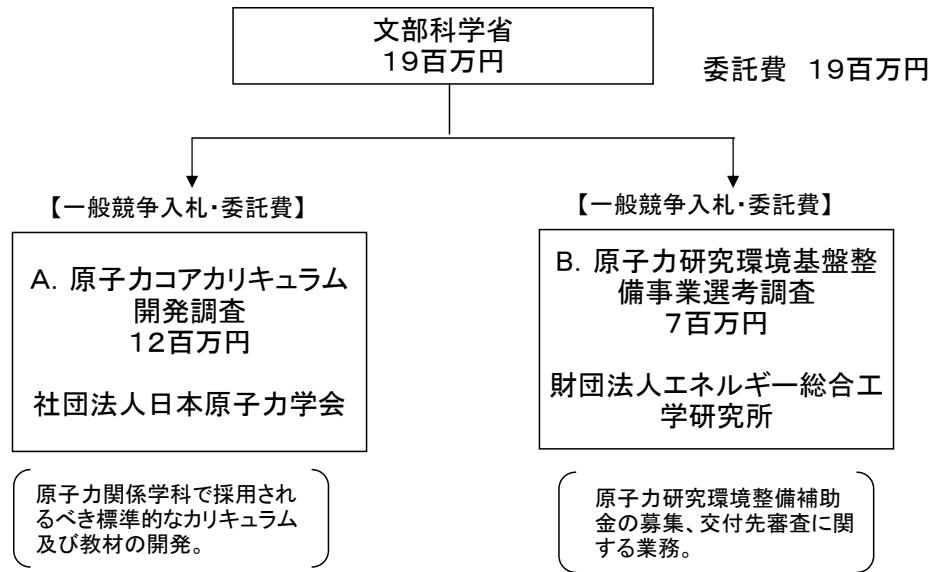


行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	原子力人材育成プログラム委託費		事業開始年度	平成19年度		作成責任者
担当部局庁	研究開発局		担当課室	原子力課		原子力課長 篠崎 資志
会計区分	エネルギー対策特別会計(電源開発促進勘定)		上位政策	原子力分野の研究・開発・利用の推進		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特別会計に関する法律施行令第51条第6項第8号		関係する計画、通知等	原子力政策大綱 (平成17年10月11日原子力委員会決定)		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	2030年代の既存原発のリプレース、2050年までの高速増殖炉サイクルの実用化、原子力技術の安全性・信頼性への要請といった課題に対応して、今後の原子力分野における継続的な人材養成・確保が必要である。そのため、大学・大学院・高等専門学校における原子力分野の教育研究活動を支援し、将来の原子力分野の担い手となる優秀な人材を育成・確保する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①原子力コアカリキュラム開発調査 有識者による検討会を開催し、原子力の実験・実習における到達すべき学力を明確化し、実験・実習の標準的なカリキュラム及び教材の調査・開発を行う。大学の原子力関係学科で採用されるべき標準的なカリキュラムを完成させる。 ②原子力研究環境整備事業選考調査 原子力研究環境整備補助事業に関して、有識者による審査委員会を開催し補助金交付先の選定を行うとともに、公募に関する事務、補助金申請事務、事業管理支援業務を行う。					
実施状況	①原子力コアカリキュラム開発調査事業については、一般競争入札により(財)日本原子力学会と委託契約を締結、原子力関係学科で採用されるべき実験実習のカリキュラムや4分野の教材の開発を実施し、コアカリキュラムを完成させた。 ②原子力研究環境整備事業選考調査については、一般競争入札により(財)エネルギー総合工学研究所と委託契約を締結、審査委員会を開催し、新たに事後評価方法を検討し34課題の評価を実施した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	24	22	21	11	10
	執行額	24	22	19		
	執行率	98%	99%	91%		
	総事業費(執行ベース)	20	21	19		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	文部科学省が直接、委託契約を締結するとともに、事業終了後に現地調査により支払額の確定しており、支出先、用途について支出1件毎に詳細に確認している。				
	見直しの余地	①原子力コアカリキュラム開発調査事業は、平成21年度をもって終了した。 ②原子力研究環境整備事業選考調査は、「原子力研究環境整備補助金」の縮減に伴い、縮減する。 ③応札者の参入を更に促すため、過度な入札条件の禁止、公告期間の確保、分かりやすい仕様書の作成に努める。				
予算・監視・所見の効率化	1. 事業評価の観点:この事業は、今後の原子力分野における継続的な人材養成・確保が必要である。そのため、大学・大学院・高等専門学校における原子力分野の教育研究活動を支援し、将来の原子力分野の担い手となる優秀な人材を育成・確保を進める事業であり、効果的・効率的な事業実施の観点で検証等を行った。 2. 所見:これまでの事業の成果を適切に検証し、より効果的な事業の実施方策等について検討するとともに、経費の効率化により予算を縮減すべきである。また、応札者の参入を促すため競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性の確保等により、事業の効率化を一層進めるべきである。					
補記						

【原子力人材育成プログラム委託費】



資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

A.社団法人日本原子力学会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
国内旅費	コアカリキュラム検討WG委員旅費	1			
諸謝金	コアカリキュラム検討WG委員謝金、教科書執筆謝金	8			
その他	資料・教科書印刷費、一般管理費等	3			
計		12	計		0
B.財団法人エネルギー総合工学研究所			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	業務担当職員	5			
その他	国内旅費、諸謝金、会議開催費、一般管理費	3			
計		7	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。